

岩手県久慈市「あまちゃん」の小学校を花いっぱい！

作成者：花育アドバイザー 佐藤 幸子

■ 実施主体

名称：花育アドバイザー
担当窓口：佐藤 幸子（岩手県盛岡市）

■ 取組地域 岩手県久慈市 久慈市立小袖小学校



学校で一番好きな場所です！

■ 概要

岩手県久慈市立小袖小学校は、NHK連続テレビ小説「あまちゃん」の舞台になった風光明媚な三陸復興国立公園に位置する学校で、東日本大震災からの復興に向けて取り組んでいる活気ある地域。

小袖地区は、リアス式の海岸段丘が入り組み平地の少ない地域のため、小袖小学校では、花壇や中庭を整備することで、東日本大震災の大きな被害を受けた地域の人々の心を癒して勇気付けようと考え、花壇などの環境整備を図る活動を学校活動の重点を置いている。

■ 取組開始時期・経緯

2016年2月	小袖小学校から中庭・噴水池跡の（日陰：13m×9m=117㎡）の活用の依頼があり、理科の授業時間に花育活動を実施、花壇作成の提案を行う。
2016年4月	中庭への花植え①下草や花苗を植える
2016年5月	中庭への花植え②樹木の定植と底面給水コンテナへの植え付け
2016年11月	花育アドバイザーへの感謝の会

■ 目的（目標）

- 1：小袖小学校の中庭を整備して活用をする。
体育館・音楽室・低学年廊下・水飲場の四方を囲まれた中庭を、花いっぱいの明るい場にする。
- 2：花で「学校」「子どもの心」「地域」を明るくする。
日陰で湿気が多くジメジメしていた場所を、花や植物を植えることで明るく学校で一番大好きな場所になるようにする。

【事前準備(学校用務員さんに依頼した事項)】

花を植える前に、既存の中庭を整備する

- ・池の跡地から砂利を取り、培養土を縁石より10cm程高い小山になるようにする。
- ・枯木・枯れ枝などの不要な樹木を整理して処分する。
- ・ツタや雑草などを除去をする。
- ・大型のプランターを準備して培養土を入れておく。



赤い囲みの所を整備します。



【中庭への花植え①下草や花苗を植える】

4月14日

- 対象者：小袖小学校 3・4年複式学級 8名
- 教科：理科
- 所要時間：1時限（45分）
- 対象場所：小袖小学校 中庭
- 指導者数：1クラス講師1名

■ 資材

・培養土 ・移植ごて ・スコップ ・大型コンテナ

■ 花材

＜半日陰でも比較的強い植物＞

- ・黄斑ヤブラン、エリゲロン、ギボウシ3種
- リグラリア、ニシキシダ、プルモナリア
- ミツバシモツケ、フシグロセンノウ
- ユキモチソウ、レンゲショウマ
- タイツリソウ、カンパニュラ、ベロニカ
- タマザキサクラソウ

【手順や流れ】

1. 苗の植え方を考えましょう！
 - ・花の名前と葉の形状と色。花色・花弁の特徴説明。
 - ・日当たりを好む植物、日陰に強い植物について説明。
 - ・植付け時の植穴の深さ、苗の扱い方。
 - ・植付け時に花が咲いている苗を植える。
(タマザキサクラソウ)
2. 苗を植えたい場所を考えましょう！
 - ・日当たりの状況と植物の特徴を考慮して分類作業。
 - ・自分が植えたい場所は、植物にとってはどうでしょうか？
子どもたちが植える場所を考えるようにします。
3. 全体のバランスを考えましょう！
 - ・小さな苗が成長した時やこれから伸びる根のことも
考え株の間隔をあける。



どんな中庭に生まれ変わるかな？



きれいな花がいっぱい。植えるのが楽しみ



植えたい場所に、花苗を置いていきます



とてもいいバランスです

- ・葉の色をよく見て互いが引き立てあう配置を決める。
- ・植える場所には、穴が掘れるか、土の深さを確認して植えることが必要。

4. 仕上げは、おいしい水です！

- ・配置が決まったら植穴を掘る。
- ・丁寧にポットから外し手を添えて植穴にそっと置く。
- ・土をかけて軽く押さえる。
- ・植付け後は、たっぷりと水やりをする。
- ・水やりで土が下がったり、穴があいてしまったところは土を埋め戻す。



最後の仕上げは、おいしい水です！



校歌から「躍進の森」と名付けました！

【中庭への花植え②

樹木の定植と底面給水コンテナへの植え付け】

5月26日

- 対象者：小袖小学校 3・4年複式学級 8名
- 教科：理科
- 所要時間：1時限（45分）と中休み（20分）
- 対象場所：小袖小学校 中庭
- 指導者数：1クラス講師1名

■ 資材

- ・スコップ
- ・ジョウロ
- ・プラスチックコンテナ ※右図参照
- ・厚手のビニール袋（72ℓ）
- ・底面給水フェルト資材
- ・培養土
- ・防草シート
- ・長くて丈夫なぬい針（縫いぐるみ針など）
- ・ナイロン糸（8号）

■ 花材

- ・ツバキ（樹木）
- ・インパチェンス（大株になる植物）



2階からは中庭がよく見える



プラスチックコンテナ

■ 活動内容（指導内容）

前回4月の活動は、花苗のみの植え付けだったが今回は、花の咲く樹木も植栽する。樹形が保ちやすく小学校の中庭に冬になると可愛らしい花の咲く木を植えることを説明。樹木の植込みの手順説明と注意点を指導。植穴を根鉢にあわせてスコップで掘り植栽。

花木植栽前に 前回4月14日活動後の花の生育状況を見
童と確認。観察しているようすをみてそこからの観察
のポイントを指導。



ツバキの樹木を植える

【手順や流れ】

1. 底面給水という方法でインパチェンスを大きく育ててみよう！

- ・インパチェンスという植物は、水をたくさん必要とする。底面給水で育てると大きく育つことを説明した。
- ・球根用のプラスチックコンテナを利用して底面給水ができるコンテナをつくることを説明。
- ・底面給水にすることにより休日、長期休暇時の水やりが楽になる。
- ・プラスチックコンテナを重ねて活用することで水をたくさん貯めることができ、高さが出せる。



プラスチックコンテナに
底面給水用シートを取り付ける。

〈底面給水コンテナの作り方〉



①コンテナの上段に、土が網目からこぼれ出ないように不織布を敷く



②不織布の中央に4か所穴を開けて、細長く切った不織布を交差させて、端をコンテナの底まで垂らす



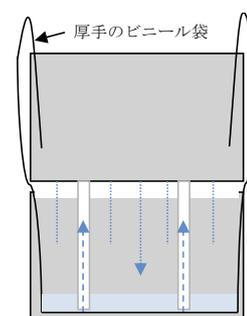
③下段のコンテナの内側に厚手のビニールを敷き、その上に上段を乗せる



④上段の側面に、空気穴を数か所開ける（ハサミなどで2～3センチ程度）



⑤上段の側面のビニールは、コンテナの内側に折り返す。※右図参照
これは、下段に溜まった水に蚊や虫などが入らないようにするため。



⑥水やりでしみ込んだ余分な水は、下段のコンテナに溜まり、水分が必要な時には不織布を伝って下段から水分を給水する。

2. 培養土を入れてみよう！

- ・プラスチックコンテナを設置する場所へ移動。
- ・プラスチックコンテナに厚手のビニール袋を入れたら培養土を入れていく。
- ・培養土24Lが何袋はいるかな？
- ・肥料を培養土に入れて混ぜる。



ビニール袋を折り返し培養土を入れる。

3. インパチェンス（大株）を植えつけよう！

- ・一つのコンテナに2株を目安に植え付ける。
- ・花苗の植え付け。
- ・水やりで作業終了。



グングン育つインパチェンス！

4. 仕上げは、カバーの取り付け。

プラスチックコンテナやビニールの袋が見えてしまうので防草シートを折り返して、プラスチックコンテナのカバーとして加工する。

これから咲いてくる花たちが引き立つ色合いで見た目も違和感なく中庭に馴染む防草シートを選択。

コンテナに縫い付ける作業は大人が行う。



コンテナにカバーを縫い付けます。



手でカバーを縫うのが大変な時は、コンテナのサイズに合わせて、袋状にミシンで縫っておいてもよい

■ 指導のポイント

- ・ 花育をどのように活用して学校に導入するのか育成場所・育成方法などを校長先生・担任とコミュニケーションを取りながら把握してアドバイザーができる指導を提供する。



落ち着いた中庭に大変身！

■ 児童・生徒に関心を持ってもらえるように工夫している点

- ・ 「花や緑が大好きな私達と一緒に花を育てましょう」という姿勢で指導。
- ・ 植栽する苗のそれぞれの特徴と魅力を説明する。
- ・ 児童に寄り添うときや、手を添えるときには声をかける。
- ・ 使用する道具の使い方を説明をして実際に使用。



■ 経費

- ・ 中庭花壇制作費 花苗、資材費 代金 30,790円
他花苗資材については、学校が応募していた企業のキャンペーン企画や支援等を活用した。

■ これまでの成果

- ・ 花や友達に対しての優しい気持ち、思いやりの心が育ってきた。
- ・ 季節や花の移り変わりなど、四季への感受性が豊かになってきた。
- ・ 水やりなどの仕事を含め、係り活動などを協力して丁寧に行っている。
- ・ 花の観察で自立心、自主性が育ってきていると感じている。



ペチュニアなども植えて
素敵な庭園になりました

■ 参加者からの感想（児童）

- ・中庭にいろいろな花を植えて楽しかったです。
- ・自分の家にも、花を植えてみたいと思いました。
- ・当番で水をやるのが、おもしろかったです。
- ・中庭で読書をしたり、遊んだりするのが大好きです。

■ 今後の課題やその改善方法

- ・中庭の改善は、まだ1年目であり、これからも継続的な指導をしていきたい。
- ・学校の予算は厳しく、継続的な支援をお願いしたい。
- ・一年草だけではなく多年草や樹木を植えることで、継続的に観察ができ、花苗代などの経費が節減できる工夫をしていきたい。



子どもたちからのお礼の手紙